

プログラム	課題名	研究代表者	研究分担者	研究開発の概要	研究期間
電波有効利用促進型研究開発(先進的電波有効利用型)	環境ダイナミクスを活用したフレキシブルLPWAの研究開発	田久 修 (信州大学)	安達 宏一 藤井 威生 (以上、電気通信大学) 太田 真衣 (福岡大学)	本研究開発では、物理環境の時間的な動きをモデル化する環境ダイナミクス理論を導入し、「パケット型インデックス変調」という新たなデータ伝送手段による環境ダイナミクスに応じた伝送、複数ユーザの共存、他既存システムとの周波数共用を図ることによって、フレキシブル LPWA (Low Power Wide Area)の実現を目指す。	フェーズ I ※ 1か年度

※ 戦略的情報通信研究開発事業(先進的電波有効利用型)は、研究開発をフェーズ I とフェーズ II に分けています。

フェーズ I は、本格的な研究開発を行うための予備実験、理論検討等の研究開発を行い、優れた成果が得られるかどうかの実行可能性や実現可能性の検証等を実施するものです。フェーズ II は、フェーズ I で成果があった研究開発を更に本格的に実施していきます。